生命(いのち)のメッセージ展　アンケート

令和5年11月5,6日開催

【自由記述】

どんな命も大切です。
生前の靴が並べてあるのは、とてもリアルで悲しく思えた。身内の方が、その靴を大切にされているのが、くつ袋で伝わってきた。
本当に困っている方には積極的に経済面の支援をすべき。
被害に遭われた皆様とその御家族の無念を心に抱き、私自身の今後の生き方や職務の進め方の信念とします。
TVのニュース等で何度かこのイベントを目にしたことがありました。今回実際に見ることができてよかったと思います。特に交通事故はこれからの自分自身の車の運転を一度見直す必要ありと感じました。
ただ心が苦しくなってしまうので長時間居られずすみません。息子と娘が元気に成長してくれることを願う日々です。
リアルでした。くつとか実例とか考えてしまうきっかけになりました。
自分の家族や子ども達と重ねて心が痛くなり、より色々心がけて周りの人たちをしっかり見て行動したいと思いました。
初めて展示会を知り、HPで活動内容や様々な展示会を拝見しました。交通事故（飲酒・無免許）で亡くなった、ご遺族の方々の思いや、亡くなられた方にも、夢のある未来を生きられたはずなのに…その思いがパネルや遺品から伝わってきました。
日常生活におけるルールの充実及び平和な生活をしたい。
生命の大切さを再認識しました。
犯罪被害者支援の制度を他の人に知ってもらおうとする活動、本当にご苦労様です。少しでも、犯罪被害者が減り、その支援が充実する様に、みんなで気持ちを一つにできれば、よりよい社会になりますね。本当にありがとうございます。
犯罪被害により命を落とされた方のことを目にして、いたたまれない気持ちになりました。
被害者となった方の内容、報道等では軽く流されてしまいますが、その方の生き方やご家族の想い等自然と涙してしまいます。いつか消える生命ですが残念な最期は誰も望まない事。人への優しさが少なくなる今、特に思います。

毎年パネル展を拝見しています。ニュースで事件を見るより身近に感じてつらいです。
交通事故犯罪者への厳罰化
被害者の心情がよくわかった。もっと広く公表できればいいと思います。
とても辛い気持ちになった。一人ひとりが注意し、規則を守れば防げることができたはずの理不尽な死ばかりでやるせないです。もっと色んな人に見て頂き、大切ないのちを感がるきっかけになることを願います。
とにかく、刑事事件の場合、加害者（容疑者）にスポットが当たりがちですが、理不尽な形で命をなくされた犯罪被害者の方々の実態に少しでもふれることが出来ました。
安全、安心のまちをめざしてください。
一人一人生命をたいせつに思う心があります様に。
パネル展に初めて来て言葉が出ず涙がこぼれました。被害にあわれた本人、家族のお気持ちを察するとホントに腹立たしい。加害者は守られてるのに被害者は「仕方ない」で済むのはおかしいと思いました。
日々の生活の中で忘れてしまいがちですが、忘れずつなげていくことが本当に大事だと思いました。
普段想像もしていない事が、明日自分自身にも起こりうる事だと改めて感じさせられました。被害者の方々の思いを考えると、無念だったろうと思います。
掲示されている方々の悲痛な思いが伝わってきて、今ここに無事生活できていることを喜び、事故の当事者にならない様にすることが大切である。亡くなった方々のめいふくを祈ります。
生命力をさまたげるこういは何事もゆるされない！！
日頃から感じていた刑罰について軽すぎると改めて思った。本人、家族の無念さを思う。
色々なことにあう可能性あるかと…
突然愛する人達をうしなってしまった気持ちを考えると胸が痛みます。このような事がぜったいおこらないようせつに願ってます。

多くの方が辛い思いをされていることを今更ながら思いしらされました。
何かが違えば自分や身近な人に同じことがおきたかもしれないと思うと怖いなと思いました。
パネルを読んで、そうだよなー、、と思った。
時間があるときにゆっくりまた来たいです。
意図的な殺人は罪だが、交通事故は人命に関しては加害者に責任があっても罪に問えないこともあると思う。交通は歩行者もふくめて全て道路等を利用する人は利益を得るので、お互い事故にならないように「ゆずりあう」「注意する」を啓蒙する必要があると思う。
命を大切にしたい。自分の命だけでなくまわりの命を大切にするために規則は守ってほしい。
痛ましい事件や事故の被害に遭われた方がたの尊いいのちの重みが伝わってまいりました。
直接の生の声を初めて見た。ニュースで見るより心に残るものがあった。今後、何らかの力になっていければと思う。
等身大のパネルが非常に印象的でした。
被害者の方の思いを知る機会は少ないから。
被害者の方の苦しみがまだ続いていると思います。支援の重要性と命を守る大切さを知った。
無免許の文字が簡単に使われている状況、危害を加えたことに対しここに亡くなられた人達の命が、法の解釈のもと軽んじられている状況に許すことができない。この気持ちをもっと考えなければいけないと思いつつ、拝見した。
身長や生前身につけていたものなど、頭の中で像がはっきりするほどより関心がつよくなった。
民法では18歳から成人であるが、刑法では成人としてあつかわれないのはおかしい！少年法を改正する必要がある。

パネル展、胸を締め付けられるような気持になりました。我が子、親、身内を失った方の心情ははかりしれないものがあるのだと思いますが、皆さん心の中にいつも思うことでいままでの思い出や、未来あったはずの方々によりそいながら生活されているのですね・・・。つらいでしょうが、がんばってください！！って失礼かもしれません・・・。
ルールを守れない人は、そのルールで成り立つ社会に参加する資格はない。被害者の納得できる判決をのぞむ！
生きたくても生きられなかった方々の声やむなしさ、展示されている靴等、改めて胸に響きました。私は趣味でウォーキングをしていますが、改めてルールを守る事の大切さを胸に刻みたいと思います。多くの方々に知って頂きたい。ありがとうございました。
むごい事件をなくすことはもとより、交通事故だけでもなくしていけるとよいと思う。特にスピードや飲酒。
辛かった（向き合うことが）
亡くなられた皆さん、理不尽な事故にあわれてゆめもあったのに、と思うとかなしくなりました。
交通事故がいつまでたっても毎日の様に起こり、事故につながる運転があり、いつも怒りを感じます。テレビを見る度、聞く度にまたかと・・・。どうして事故をおこした後のことを考えないのかと・・・
83歳の高齢者であるが、現在も車を運転しているが、今日のこのイベントに参加させていただき、一層の注意を心掛けようと思いました。
パネルを読むとつらくなったが、目をそむけてはいけない事だと思いました。
被害者の遺族の方の思い、被害者自身の思いがつづられていて、とても胸が苦しくなった。あたりまえにくると思っている明日を、精一杯生きていこうと思った。
パネルを見てとてもつらい気持ちになった。生きていることは当たり前のことではないんだということを改めて感じた。
大学での展示はいいですね。多くの方の目にふれますね。
見ていてとてもいたましくかなしくなった。
悲しいことを繰り返さない　見守り、支援。

なかなか無くならないけれど、飲酒運転防止の為、飲酒の禁止、飲食店、コンビニなども周知徹底してほしい。無謀運転も同様、徹底した取締と車の使用禁止、免許の返上まで考えてもらいたい。
どうしたらこんな犯罪なくなるのか、なくせるのか、一人一人が真剣に考えなくてはならない。
もっとパネルが多くてもいいのではないか。
犯罪防止対策の充実を図る。
交通ルールは絶対に守る。人の痛みに関心を持ち続ける。
まだ幼い命などもなくなってしまい、とても残念だと思いました。
映像があればもっと理解が深まったと思います。
メッセージとくつをおいているのがリアルでつらかった。交通事故で亡くなっている方が多かったので自分も気を付けようと思った。
関心深いですが、気も重くなりました。でも大事なことと認識しました。色々な支援やケアが届きます様に。
被害者がいなくなる世の中にしたいと思います。犯罪や交通事故にあったことのない人にとってはそれは他人事だと思われているでしょう。でもそれは決して他人事ではない。このパネル展事業を是非続けていってください。
幼い子供の靴をみると心が痛みます。
一人ひとりの生命がりふじんにもうばわれてしまったことの無念さが心にひびきました。
本人に非のない形での殺される全てのことはあってはならない（どんな場合もですが。）ことと思っています。加害者保護ばかりめだちますが被害者側の保護が大きくなりますよう、全ての命が大切にされる世の中になるよう祈るばかりです。
いままでにこういった内容の展示が初めてで、生命が守られているのかどうかの状況を考えることがまた一段と増した気がします。
交通事故の被害者の方々の展示が多かったことが印象的でした。被害者の無念を考えると悪質な運転者に対する厳罰化が社会的な要請であることに間違いない。昨年末に発生した堺市中区での飲酒運転のドライバーによって引き起こされた死亡事故の裁判も法の無力を感じています。

子を持つ親として切ない。くやしさや淋しさ・・・。涙がとまりません。
とても大切なことだと思いました。
テレビやネットのニュースで見たことはあったけど初めて見ました。改めて生命の重さを感じました。親としての無念な気持ちを思いました。一緒に見た子供たちも何かを感じて自分やお友達の生命を大切にして欲しいなあと思いました。
とても大切な活動だと思います。
よんでると泣いてしまいそうになります。
もっとみんなに生命のメッセージ展を知ってもらいたい！
理不尽に亡くなったり、突然、交通事故にあったり、決して他人事ではない。せめて自分自身が加害者にならないよう、気を引き締めるのみ。
国が犯罪被害者に対して、もっとフォローすべきだと思う。犯罪加害者に対する刑罰が軽すぎる。
一日一日を大切にすごしていかないといけないと思いました。ありがとうございました。
涙なくして見られなかった。ご両親の思いが切実に伝わりました。
亡くなっていった1人1人の人に人生があって、家族があり、心があることを思うと、せつなくなりました。
ふつうに日々を過ごしていただけなのに亡くなってしまうのはとても悲しいことだと思いました。
亡くなった人は小さな子から高齢の方までいて、どの人でも犯罪にあうことがわかりました。
理不尽な死はとてもつらいことで、なくなるように自分ができることを考えようと思いました。
小さいのに理不尽な理由で大切な命がなくなっていることを初めて知ったから。

命の大切さが良く判りました。
痛ましい交通事故、暴力事件が無くなりますように・・・
命、重かったです。でも、自分自身も運転する身。皆の想いを胸にきざみ、一生懸命生きます。この展示これてよかったです。
車による事故で、いままでの幸せな生活が一瞬にしてなくなるのはいたましい。私も皆様も運転には十分すぎる注意をはらって安全運転をしていく事がとても大切だと思いました。
理不尽に奪われる命があるなんて許せない。ましてや、その加害者がその後をのうのうと生きているなんてもってのほかだ。やったもん勝ちの世の中にしてはいけないし、きちんと罰を与えるべきだ。
今は人ごとですが、いつ私事になるかもしれません。まさかの時に、情報や支援が充実しているといいと思いました。
身長のパネルと靴をみて、本人はそこに立っていなくても生活の跡がまるで本人がそこにいるような気がした。また、家族の悲しみや本人と過ごしたかった未来が文字から伝わってきて、今後の被害を減らす思いと、家族への支援の重要性を改めて感じられる展示だった。
パネル展をみて、涙が出そうになった。テレビ等では被害者の事、その家族の事、とても大変だなと・・・いつも思っていた。こんな事がなくなって欲しいです。
大切な人の時間はずっと消えないから。どうしたら乗り越えられるんだろう。
様々な事件や事故に巻き込まれた人達の一人一人の事を知れて、命の大切さが身にしみた。
加害者名が匿名で公表されずに、死亡された被害者の氏名が公表されている現状があります。被害者の人権より加害者の人権に配慮されているように思います。怒を覚えます。
交通事故や殺人などどのような形でも、何の罪もない人が亡くなってしまうのは、とても悲しくつらい事だと思います。生命あってもその為に障害の残ってしまった人は数多くいると思います。被害にあった家族や障害（心・身体）を負ってしまった被害者の方には身心・経済面でもっと支援を広げてもらいたいと思いました。
読むのがつらくなりましたが、全部読ませてもらいました。自分も気を付けようと思います。
自分も車を運転しますが、今回、事故について深く考えさせられた。人生をうばわれた被害者や、家族、友人の無念さが伝わり、胸がいたかった。

過去に同じような事故が繰り返されても、法律は変わらず、被害者よりむしろ加害者を守っているようで納得がいかない。車＝きょう器なのだから、ルールを無視し、人身事故を起こした時点で殺人未遂、ひき逃げ死亡なら殺人罪適用でもよいと思う。
ニュースなどで見た時、機会があれば見てみたいと思っていました。みんなどうして自分の事の様に考えられないのか、とても悲しいです。貴重な体験ありがとうございました。
少し昔の事件・犯罪もあり、今では考えられないような警察の態度やインターネットの法整備の不足等もあった。それに、今と比べ医療が進んでいなかったというのも亡くなってしまった要因にあると思う。しかし、上記のいずれにしても犯罪がそもそも起きなければ亡くなってはいなかっただろう。亡くなられた被害者の事を思うと心がいたんでくる。
運転する身ですので、これからも安全運転したいと思います。
若くして亡くなった命が多く、とても苦しく思います。どうか安らかにおねむりください。
このメッセージ展に来れて本当によかったです。自分が生きているということは普段感じにくいことですが、その尊さを教えていただきました。飲み会も行くし、免許もとったばかりの大学生の私に、できることは何か、考えさせられました、私は将来スクールソーシャルワーカーになりたいと思っています。少しでも世の中を安心できる安全なものにできるよう貢献できればなと思います。ぜひ、教育福祉学類で講義をしていただきたいです。私の個人的な希望ですが。ありがとうございました。
自身も車の運転をするので、十分な注意が必要だと感じた。いつ自身の身にふりかかるかもしれない恐怖を感じた。
医療従事者の自分として、1歳の事もから大人まで犯罪や事故、いじめ、医療過誤、一気飲ませなど人に理不尽な生命を奪うメッセージを読んでとてもためになりました。いのちのミュージアムの本がどこかで売っていたら買って読もうと思います。
日常的に車の運転をします。気を引き締めて、事故のないよう、運転をしないといけないと思いました。
これまでニュース等でみたことのある事案もありましたが、読んでいて涙がでてきました。
実際に被害にあった方の遺品があることでパネルに実感がもてたから。
遺族の声、どんなにつらい思いで今も過ごされていると思うと、胸が痛みます。
犯罪被害者（特に交通事故）を防ぐための法整備は重要だと思いました。

被害にあわれた人それぞれにこれからの人生があったはずなのにと思うと心がしめつけられた。
何も悪い事をしていない人が突然、事故や事件で亡くなってしまうことは、本人、そのご家族にとってとても悲しい事です。なくなる世の中になってほしい。
心が痛くなった。
ご本人たちが実際に着用されていた靴を見て、本当に生きていたのだと感じると胸が苦しくなりました。展示会を開いてくださりありがとうございました。
ご本人の靴がリアルで、想像しやすかったが、その分、胸が苦しくなった。
先の人生をうばわれてしまった悔しさをもっと伝えていってほしいです。この様な機会がもっとあってほしいです。
靴がおいてあって、その上にある説明をよんでいると、ぞっとした。自分の家族や友人がこのような目にあったらと思うと胸が痛かったです。このような靴や被害の状況については、どのように提供してもらっているのか気になった。
同年代の人々が多く何気ない日常の中で亡くなったことをしり心揺さぶられました。
何名かの方はニュースで覚えておりましたが、申し訳ないですが既に忘れてしまっている事件が多く、改めて皆様の、また御家族の方の無念さを思い、心が痛かったです。報道の仕方がまずひどい事、加害者にばかり人権を重視する事が本当にひどいと感じました。
無謀な運転で人命が失われていることが、もっと周知されると良い。
被害者に目を向けていかなければいけないと思いました。車の運転に十分注意していきたいと思います。
犯罪被害者の人たちのことを考えることは、今まで少なかったので、とても考えさせられるパネル展でした。
今回のパネル展を通して、若い命が突然奪われているということを知った。このことは、可能性としては低いけれど、自分にも起こりうる事だと思った。だからこそ、一日一日を大切に生きようと思った。
戦争や災害でなくなってしまった方々の思いなどを、これからたくさんの人々に伝えていくことがとても大切だと思いました。

自分と年齢が近い子が事故にあったり子供から大人までみんな苦しい死に方だったり今まで以上に生きる事をうれしく思いました。
自分の命を大切にしたいと思った。また、事故などにならないように、しっかり車がきてないかかくにんしたいと思った。
たったそんな事でかんたんにいのちをうばわれると思っていなかった。死んでしまった人たちはもっとしあわせになってほしい。
こうつうルールをまもります。みんなかなしい思いをしたくないです。
かわいそう。じぶんでもきをつけることにした。
2001ねんにはじまったいのちをつなぐのが、びっくりしました。なぜならわたしが生まれてないころからくふうをしていたからです。
命をできるだけ大切にしようと思った。
こうつうじこしないように気をつける。回りをよく見る。
生きているのが当たり前じゃないので今をたのしみたいです。
けいとをつなぎました
命が大切なことが改めて分かった。